

303 わり算

30301

◇第1時の授業

p30, p31, p32

- (1) ・ 30ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
・ やまびこ読みをします(■まで)。 ※追い読み→1人読み
- (2) ・ 下の絵を見ます。
・ お父さんがやきそばを作っています。「もうすぐできるよ」
・ 右の絵を見ます。みんなで4人。同じ分量に分けていますか(違う)。
・ それでいいんですか(体の大きさが違うから、分量が違ってもいい)。
- (3) ・ その下の絵を見ます。
・ ケーキが1こ、お皿が4枚、フォークが4本あります。
・ 黄色い服の女の子が「4人で分けよう」と言っています。
・ 右の絵を見ます。4人とも同じ量ですか(同じ量)。
・ ますりんが言っています。「1人分は、もとの大きさの1/4だね」(同)。
- (4) ・ その下の絵を見ます。
・ お母さんが、さくらんぼの皿を持っています。
・ 「さくらんぼが15こあるよ。3人で分けてね」と言っています。
・ 右の絵を見ます。ゆかさんの皿には、何こありますか(6こ)。
・ 皿の下に、このように(ICT)「6」と書きます。
・ えみさんの皿には(4こ)。皿の下に「4」と書きます。
・ のぼるさんの皿には(5こ)。皿の下に「5」と書きます。
- (5) ・ えみさんが何か不満そうですね。なぜですか
(さくらんぼの数が他の人より少ないから)。
・ そこで、ゆかさんが言っています。「えみさんに1こあげるね」。
・ ゆかさんからえみさんへさくらんぼを1こあげました。
・ そうすると、ゆかさんは、「6」からいくつになりましたか(5)。
・ えみさんは、「4」からいくつになりましたか(5)。
・ のぼるさんは「5」のまま。
※6→5, 4→5, 5と挿絵に記入→⑤⑤⑤と丸囲み
- (6) ・ ?マーク「ゆかさんはどうしてえみさんに～」とあります。
・ はるとさんが答えています。
・ Aさん、…に言葉を入れて吹き出しを読んで下さい(～ちがうから)。
脇に書きます。
・ 「同じ数ずつ分ける」ことが大事ですね。脇に書きます。
・ あみさんが言っているように、分ける前から計算して、
「15こあるから、3人で、5こずつ分けよう」と分かればいいですね。
・ この単元を勉強すると、それができるようになります。
- (7) ・ p31を見ます。
・ タイトルに「同じ数ずつ分ける」とあります。下線を引きます。
「同じ数ずつ分ける」計算はあるのでしょうか。
・ 追い読みをします(1文まで)。 ※追い読み
・ 左側の絵を見ます。
・ お父さんが、クッキーを12こ持って言っています。
・ 「3人で仲良く分けてね」。
・ 右側の絵を見ます。女の子が言っています
・ 「同じ数ずつ分けると、1人分は何こかな」。「同じ数ずつ」に下線。
・ さっきのえみさんのようにならないように、分ける前に計算しよう

- としていますね。
- (8)・Bさん、□1を読んで下さい(読む)。「3人で同じ数ずつ分ける」に下線。
 ・?マーク「1人分の数を求める分け方を考えよう」とあります。
- (9)・Bさん、①を読んで下さい(読む)。
 ・今日は、おはじきの絵を使って、1人分はいくつになるかを調べます。
 下の絵は、後から使います。
- (10)・p32を開きます。 ※黒板、同じ形でおはじきを用意
 ・1番上の絵は、クッキー12こです。脇に「クッキー12こ」と書きます。
 ・その下の絵を見ます。
 ・クッキーのかわりに、おはじきを使っています。
 ・おはじきの隣に、お皿が3枚並んでいます。
 ・まず、「1人1こずつ」分けます。3ことして、皿に1こずつ分けました。
 おはじきが残っています。まだ分けられます。
 ・その下、「1人2こずつ」分けます。3ことして、皿に2こ目を分けました。
 おはじきが残っています。まだ分けられます。
 ・その下、「1人3こずつ」分けます。3ことして、皿に3こ目を分けました。
 おはじきが残っています。まだ分けられます。
 ・その下、「1人4こずつ」分けます。3ことして、皿に4こ目を分けました。
 全部分けられました。
 ・1人分は、何こですか(4こ)
- (11)・このように言います。 ※教師は黒板で操作する。児童は復唱する
 ・「1こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 ・「2こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 ・「3こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 ・「4こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「全部分けられた。OK」(同)。
 ・「1人分は、4こです」(同)。
- (12)・今度は、絵に指さしながら、言います。 ※ICTで模範演技
 ・自分の教科書を指さしながら、言います。
 ・青い「1こ」「2こ」「3こ」「4こ」の所に、それぞれ「ずつ」を書きます。
 (1こずつ、1, 2, 3、まだ分けられる。2こずつ、1, 2, 3、まだ分けられる。
 3こずつ、1, 2, 3、まだ分けられる。4こずつ、1, 2, 3、
 全部分けられた、OK)。 ※全員読み→1人読み
- (13)・p31にもどります。今度は、自分で書きながら言います。
 ※教師が、ICTで書きながら操作
 ・このように、おはじきを1こチョンして、お皿に1こ○をつけます。
 ・「1こずつ」(同)「1」(チョンして皿に○)「2」(チョンして皿に○)
 「3」(チョンして皿に○)「まだ分けられる」(同)。
 ・では、「2こずつ」から、自分でやります。 ※机間指導
 ・終わった人は立って、説明練習をします。
- (14)・p32に戻ります。
 ・Cさん、みさきさんのまとめ吹き出しを読んで下さい(読む)。
 ・Dさん、その下の、黄色い枠の所を読んで下さい(読む)。
 ・「3人で同じ数ずつ分ける」に下線を引きます。
 ・「同じ数ずつ分ける」ときの計算のしかたを、追い読みをします。
 ・「12このクッキーを」(同) ※「12」と板書
 ・「3人で同じ数ずつ分けると」(同) ※「÷3」と板書
 ・「1人分は4こになります」(同) ※「=4」と板書
 ・「このことを式で、次のように書きます」(同)
 ・「12わる3は4」(同)。
 ・これが、「同じ数ずつ分ける」ときの計算です。

- ・「わり算」と言います。みんなで言います。「わり算」(同同同)。
 - ・これまでは「+」「-」「×」を習いましたが、今日は新しい記号です。
 - ・「÷」の書き順です。 ※空書き→ゆびなぞり書き
- (15) ・ノートに、式と答えを書きます。 ※先生チェック
- ・書けた人は、先生チェック。

★ポイント(30301)

- (1) 同じ数ずつ分けるときの計算を考える。
- 「1人分の数」を求める分け方を考える。
 - ・「おはじきの絵」を見て、考える。
 - ・「おはじきの絵」を操作して、考える。

「等分除」を絵図で操作

一つ一つ移動する

リズムよく説明する

《手 順》 ～

- (1) 「12こ」と、○を12こかく。
- (2) 「3人」と、長四角を3つかく。
- (3) ○を1こ\で消す→長四角に○。
- (4) (3)を12回繰り返す。
- (5) 式と答えをかく。

《おしゃべり》

- (1) 1こずつ, 1, 2, 3。まだ分けられる。
2こずつ, 1, 2, 3。まだ分けられる。
3こずつ, 1, 2, 3。まだ分けられる。
4こずつ, 1, 2, 3。
全部分けられた。O.K.
- (2) 答えは, 4こです。
- (3) 式は, $12 \div 3 = 4$ です。

- (2) わり算記号「÷」をかく。
- 「横棒」→「上・」→「下・」

※分数をかく順序と違う
「横棒」→「分母」→「分子」

- (1)・33ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・p32の絵を見ます。追い読みをします。 ※追い読み→1人読み
- ・「1こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 - ・「2こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 - ・「3こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 - ・「4こずつ」(同)「1, 2, 3」(同)「全部分けられた。OK」(同)。
 - ・「式は $12 \div 3 = 4$ 」(同)「答えは、1人分は4こです」(同)。
- (3)・今日は、「おはじきの絵」をかいて、答えを出す練習をします。
- ・Aさん、△1の問題文を読んで下さい(読む)。
 - ・「6人で同じ数ずつ分けます」に下線。「同じ数ずつ分ける」問題ですね。
 - ・あめは何こありますか(18こ)。
- ※「10数図」と「8数図」で18こを示す。板書で例示
- ・何人で分けますか(6人)。このように長方形を6つかきます。
- ※皿を長方形に見立てる。板書で例示
- (4)・黒板を見ます。このように言いながら、かきます。
- ・「1こずつ」(同)「1, 2, 3, 4, 5, 6」(同)「まだ分けられる」(同)。
- ※おはじきを1こ消したら(チョン)、お皿に1こ○をつける
- ・「2こずつ」(同)「1, 2, 3, 4, 5, 6」(同)「まだ分けられる」(同)。
 - ・「3こずつ」(同)「1, 2, 3, 4, 5, 6」(同)「全部分けられた。OK」(同)。
 - ・「式は $18 \div 6 = 3$ 」(同)「1人分は3こです」(同)。
- (5)・ノートを使って、同じように、自分で分けます。言いながらかきます。
- ・まず、18このあめ代わりの「○」をかきます。1マスに1こずつ。
 - ・次に、6人分のお皿をかきます。縦長の長方形を6こかきます。
 - ・まず、「1こずつ」を分けます(作業)。
 - ・まだ分けられます。次に、「2こずつ」を分けます(作業)。
 - ・まだ分けられます。次に、「3こずつ」を分けます(作業)。
 - ・全部分けられましたね。
 - ・答えの1人分は、何こになりますか(3こ)。①の脇に書きます。
 - ・②の脇に、式を書きます($18 \div 6 = 3$)。
 - ・終わった人は説明練習をします。
- (6)・Bさん、△2の問題文を読んで下さい(読む)。
- ・「2人で同じ数ずつ分ける」に下線。「同じ数ずつ分ける」問題ですね。
 - ・鉛筆は何本ありますか(14本)。鉛筆1本が、「○」1こです。書きます。
 - ・まず、14本の鉛筆代わりの「○」をかきます。1マスに1こずつ。
 - ・次に、2人分のお皿をかきます。大きめの長方形を2こかきます。
 - ・まず、「1こずつ」を分けます(作業)。
 - ・まだ分けられます。次に、「2こずつ」を分けます(作業)。
- ※「3こずつ」～「6こずつ」同様
- ・まだ分けられます。次に、「7こずつ」を分けます(作業)。
 - ・全部分けられましたね。
 - ・答えの1人分は、何こになりますか(7こ)。△2の脇に書きます。
 - ・その脇に、式を書きます($14 \div 2 = 7$)。
 - ・図と式が書けたら先生チェック。
 - ・終わった人は、先生問題をノートにやります。
 - ・自分のペースで作業します。 ※ $21 \div 3$, $24 \div 4$, $14 \div 7$ を板書
 - 1つできるとに持ってきます。 ※先生チェック
- (7)・黄色い枠をみんなで読みます(読む)。

- ・みんなで言います。「わり算」(同同同)。
- ・これまで、1年生から計算の勉強をしてきました。
- ・計算の種類は、全部で4種類あります。それは何ですか
(たし算, ひき算, かけ算, わり算)。

(8) ・スキル11番を開きます。

※スキルシステム

★ポイント(30302)

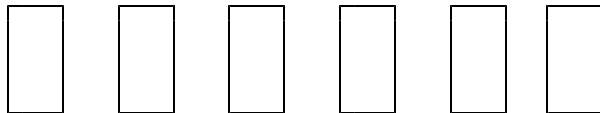
(1)「同じ数ずつ分ける(等分除)」を、半具体物で操作する。

○「○印」…クッキー、あめ、鉛筆等の数
「長方形」…1人分の数(皿)

○「○印」を移動するために、「チョン」で消して、新たに「○印」をかく。

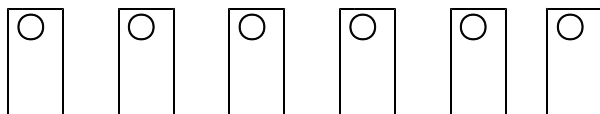
・△1の図

○○○○○ ○○○○○
○○○○○ ○○○



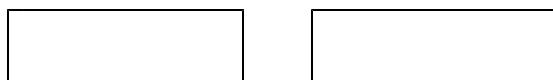
(途中図)

中中中中中 ○○○○○
中○○○○ ○○○



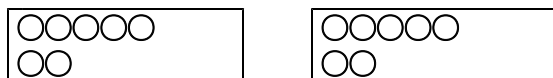
・△2の図

○○○○○ ○○○○
○○○○○



(最終図)

中中中中中 中中中中
中中中中



- (1)・33ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・追い読みをします(□2)。 ※追い読み→1人読み
- ・「5人で同じ数ずつ分ける」に下線。「同じ数ずつ分ける」問題ですね。
- (3)・右の写真を見ます。かごの中にゼリーがたくさんあります。
- ・何こありますか(20こ)。さし絵に「20こ」と書きます。
- ・このゼリーを何人で分けますか(5人)。
- ・1人分は何こになりますか、という問題です。
- ・「同じ数ずつ分ける」問題を解くときは、何算をしますか(わり算)。
- ・「式」の所にわり算の式を書きます(20÷5)。
- (4)・Aさん、りくさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
- ・ノートにおはじきをかいて解くのは昨日までやりました。
- ・でも、これを毎回毎回かくのは大変です。
- ・何かよい方法はないかな、というのが今日の勉強です。
- ※「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」揭示
- ・2年生のときは、これを使っていました。そしてこんな問題でした。
- ※問題文を揭示する
- クッキー1人分は5こです。3人います。全部で何こいりますか
- ・「1つ分の数」は何こですか(5こ)。「1人分」は「1つ分」のことですね。
- ※「1つ分の数」の下に「5」、問題文「1人分は5こ」に青囲み
- ・何人分ですか(3人分)。「3人分」ということですね。
- ※「いくつ分」の下に「3」、問題文「3人」に赤囲み
- ・クッキーは全部で何こですか(□こ)。これが問題なので「□こ」です。
- ※「全部の数」の下に「□」、問題文「何こ」に黒囲み
- ・ $5 \times 3 = \square$ の式ができました。□はいくつですか(五三15)。
- (5)・今日はかけ算の問題ではなく、わり算の問題です。
- ・でも、2年生のときに使った、この「言葉の式」をわり算でも使えます。
- ・かけ算の時と同じように、問題文を詳しく調べます。
- ・1人分は何こと書いてありますか(書いてありません)。
- ・そういうときは「1人分は□こです」と言います。
- ・みんなで言います。「1人分は□こです」(同同同)。
- ・「1つ分の数」が分からないというのは、初めてです。
- ※「1つ分の数」の下に「□」
- ・問題文を見ます。「1人分は何こ」と書いてあります。
- ・「何」を□囲みします。そして、「1人分は□こ」を青囲みします。
- ・次は「いくつ分」です。何人分ですか(5人分)。
- ・下線を引いたところに「5人で同じ数ずつ分ける」とあります。
- ・なので、「5人分」ですね。 ※「いくつ分」の下に「5」
- ・問題文を見ます。「5人」を赤囲みします。
- ・最後は「全部の数」です。ゼリーは全部で何こですか(20こ)。
- ・わり算では、全部の数がわかっているのですね。
- ※「全部の数」の下に「20」
- ・問題文を見ます。「20こ」を黒囲みします。
- ・ $\square \times 5 = 20$ という、変な式ができました。
- (6)・?マーク「答えの見つけ方を考えよう」とあります。
- ・ますりんの所を見ます。ことばの式があります。
- ・「1人分の数」は何こですか(□こ)。上に「□」と書きます。
- ・「×」の上に「×」と書きます。

- ・「人数」は何人ですか(5人)。上に「5」と書きます。
 - ・「＝」の上に「＝」と書きます。
 - ・「全部の数」は何こですか(20こ)。上に「20」と書きます。
 - ・ $\square \times 5 = 20$ という変な式ができました。
- (7) ・p34を開きます。
- ・ここ(ICT)に「 $\square \times 5 = 20$ 」と、下の「 $\times$ 」「 $=$ 」にそろえて書きます。
 - ・ $\square$ の数はいくつなのかを調べます。
 - ・青い所の最初の段を見ます。 $\square$ が1の時。 $\square$ の中に「1」を入れます。
一五が(5)。答えは5ですね。20ではありません。
 $\square$ は1ではありません。左側に「 $\times$ 印」を書きます(×)。
 - ・その下。 $\square$ が2の時。 $\square$ の中に「2」を入れます。
二五(10)。答えは10ですね。20ではありません。
 $\square$ は2ではありません。左側に「 $\times$ 印」を書きます(×)。
 - ・その下。 $\square$ が3の時。 $\square$ の中に「3」を入れます。
三五(15)。答えは15ですね。20ではありません。
 $\square$ は3ではありません。左側に「 $\times$ 印」を書きます(×)。
 - ・その下。 $\square$ が4の時。 $\square$ の中に「4」を入れます。
四五(20)。答えは20です。ピッタリです。
 $\square$ は4でした。左側に「○印」を書きます(○)。
 - ・Aさん、青枠の下の方と式と答えを読んで下さい(読む)。
 - ・「 $20 \div 5$ 」の答えは「4」でした。
- (8) ・でも、いつも青色の所に書いてあることをしていたら大変です。
- ・何かよい方法はありませんか。
 - ・「 $\square \times 5 = 20$ 」の時の $\square$ の求め方は、もう習っています。
 - ・何ページで習いましたか(p22)。開きます。この時と同じ事をします。
- (9) ・ノートに、「 $\square \times 5 = 20$ 」を書きます。
- ・何の段を使って探しますか(5の段)。
 - ・「5」の下に、5mm方眼を使って、縦に数字を書いていきます。
 - ・1を書いて五一が(5)。2を書いて五二(10)。3を書いて五三(15)。
4を書いて五四(20)。ピッタリになったので、「4」に○印。
- (10) ・Bさん、まとめを読んで下さい(読む)。
- ・ノートに、1マスずつで「 $20 \div 5 =$ 」と書きます。
 - ・「5」の下に「1」と書いて五一が5、「2」と書いて五二10、「3」と書いて五三15、「4」と書いて五四20。「4」に○印。答えは4なので「 $=4$ 」。
 - ・このように説明します。 ※説明台紙の掲示
- ①($\div$)の答えは()の段で見つけます。
②($\times$ は 、 $\times$ は 、 …)。マル。
③答えは()です。
- (20 $\div$ 5の答えは、5の段で見つけます。五一が5、五二10、五三15、五四20。マル。答えは4です)。
- (11) ・練習問題に入ります。
- ・Cさん、△3の問題を読んで下さい(読む)。
 - ・「同じ長さずつ8本に切ります」に下線。わり算ですね。
 - ・右側の、赤いテープの絵を見ます。
 - ・リボン全部で何cmですか(24cm)。書いてありますね。黒で囲みます。
問題文の「24cm」にも黒囲み。
 - ・この24cmのテープを同じ長さずつ何本に切りますか(8本)。
脇に、赤で「8本分」と書きます。問題文の「8本」にも赤囲み。
 - ・1本分の長さは、何cmですか(□cm)。「□cm」を青で囲みます。
 - ・問題文の「1本の長さは何cm」を青で囲みます。

- ・同じ長さずつ分ける時の計算は、何算でしたか(わり算)。
 - ・式を脇に書きます(24÷8)。
 - ・さて、このわり算の答えは何の段にありますか(8の段)。
 - ・ノートに「24÷8=□」を書いて調べます。
 - ・答えを書きます(24÷8=3 答え3cm)。 ※答え合わせ
- (12)・Dさん、△4の問題を読んで下さい(読む)。
- ・「同じ長さずつ分けます」に下線。わり算ですね。
 - ・色紙は全部で何枚ですか(42枚)。黒で囲みます(黒囲み)。
 - ・この42枚の色紙を、何人に分けますか(6人)。赤で囲みます。
 - ・1人分は、何枚になりますか(□枚)。「1人分は何枚」を青で囲みます。
 - ・わり算の式を、脇に書きます(42÷6)。
 - ・さて、このわり算の答えは何の段にありますか(6の段)。
 - ・ノートに「42÷6=□」を書いて調べます。
 - ・答えを書きます(42÷6=7 答え7枚)。 ※答え合わせ
- (13)・スキル12番を開きます。 ※スキルシステム

★ポイント(30303)

- (1)「同じ数ずつ分ける(等分除)」問題は、わり算の式で求めることを知る。
○かけ算の公式「1つ分の数×いくつ分=全部の数」を利用する。

$$\begin{array}{rcl} 1\text{つ分の数} \times \text{いくつ分} & = & \text{全部の数} \\ \square \quad \times \quad 5 & = & 20 \end{array}$$

○かけ算の公式の色を使って、問題文を分析する。

- ・「1つ分の数」…青→「1人分は何こ」
- ・「いくつ分」…赤→「5人」
- ・「全部の数」…黒→「20こ」

○「単元1」でやった「□」の求め方を想起する。

$$\square \times 5 = 20$$

1④
2
3

- (2)わり算の式から、答えを直接求める方法を知る。
○かける数の「5の段」を使って求められることを、宣言する。

○わる数の下で調べる。説明する。

$$20 \div 5 = \square$$

1④
2
3

- 《おしゃべり》 —
- (1)20÷5の答えは、5の段で見つけられます。
 - (2)五一が5, 五二10, 五三15, 五四20。マル。
 - (3)答えは 4です。

- (1) ・ 35ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2) ・ 追い読みをします(□1まで)。 ※追い読み→1人読み
- (3) ・ 上の絵を見ます。
 ・ お母さんが、パイを12こやきました。「1人3こずつだよ」。
 ・ その下の絵を見ます。お母さんがパイを配り始めました。
 ・ 緑色の服を着た男の子が言っています。「何人分あるのかな」。
 「1人3こずつ」配って、なくなったら終わりですね。
 ・ なので、一番最後に並んでいる赤い服を着た男の子が心配しています。
 「ぼくの分はあるのかな」。もしかしたら、ぼくの分まで回ってこないかもしれないと心配しています。
- (4) ・ Aさん、□1の問題をもう一度読んで下さい(読む)。
 ・ 「1人に3こずつ分ける」に下線。「同じ数ずつ分ける」のでわり算ですね。
 ・ パイは、全部で12こあります。
 ・ 1人に3こずつ分けます。
 ・ パイは何人に分けられますか、という問題です。
 ・ 昨日までは、「1人分は何こですか」という問題でした。
 ・ 今日は、「1人分は3こ」と分かっています。
 ・ 「いくつ分」の方がわからない、という問題です。
 ・ 何算をしますか、ということが今日の勉強です。
- (5) ・ ?マーク「何人に分けられるかを求める分け方を～」とあります。
 ・ Bさん、①を読んで下さい(読む)。
 ・ 今日もおはじきの絵を使って調べます。
- (6) ・ p36を開きます。 ※黒板に、12このおはじきを貼る
 ・ 1番上の絵は、パイ12こです。脇に「パイ12こ」と書きます。
 ・ その下の絵を見ます。
 ・ パイのかわりに、おはじきを使っています。
 ・ (ICT) まず1人目の人がお皿を持ってきました。
 ・ おはじき3こをとって、1人目の女の子の皿に、3このせました。
 おはじきが残っています。まだ分けられます。
 ・ その下。2人目の人がお皿を持ってきました。
 ・ おはじき3こをとって、2人目の男の子の皿に、3このせました。
 おはじきが残っています。まだ分けられます。
 ・ その下。3人目の人がお皿を持ってきました。
 ・ おはじき3こをとって、3人目の女の子の皿に、3このせました。
 おはじきが残っています。まだ分けられます。
 ・ その下。4人目の人がお皿を持ってきました。
 ・ おはじき3こをとって、4人目の男の子の皿に、3このせました。
 ・ 全部分けられました。
 ・ 何人に分けられましたか(4人)。
 ・ 最後の赤い服を着た男の子の分もちょうんとありましたね。
- (7) ・ このように言います。 ※教師は黒板で操作、児童は復唱
 ・ 「1人目」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 ・ 「2人目」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 ・ 「3人目」(同)「1, 2, 3」(同)「まだ分けられる」(同)。
 ・ 「4人目」(同)「1, 2, 3」(同)「全部分けられた。OK」(同)。
 ・ 「答えは、4人です」(同)
 ・ 今度は、絵に指をさしながら言います。 ※ICTで模範演技

- ・自分の教科書を指さしながら言います。 ※全員読み→1人読み
- (8) ・自分で絵をかいて、答えを出す練習をします。
- ・パイは12こあります。上側に、このようにかきます。
- ※1列で12こを示す。板書で例示
- ・1人に3こずつ分けます。最初の3こを、丸囲みします(3こ分を囲む)。
- そして、その下に「1人目」と書きます(書く)。
- ・次の3こを囲んで「2人目」と書く。次の3こを囲んで「3人目」と書く。
- 次の3こを囲んで「4人目」と書く。
- ・これで全部分けられたので、答えは「4人」ということになります。
- ・書き終わったら立って、説明練習をします。
- (1人目、1, 2, 3、まだ分けられる。2人目、1, 2, 3、まだ分けられる。
- 3人目、1, 2, 3、まだ分けられる。4人目、1, 2, 3、全部分けられたOK)。
- (9) ・Cさん、はるとさんのまとめ吹き出しを読んで下さい(読む)。
- ・全部分けられるまで丸で囲んでいけば、答えが分かりますね。
- (10) ・Dさん、その下の黄色い枠の所を読んで下さい(読む)。
- ・「1人に3こずつ分ける」に下線。「同じ数ずつ分ける」のでわり算です。
- ・「1人に3こずつ分ける」ときの計算のしかたを、追い読みをします。
- ・「12このパイを」(同) ※「12」と板書
- ・「1人に3こずつ分けると」(同) ※「 $\div 3$ 」と板書
- ・「4人に分けられます」(同) ※「 $=4$ 」と板書
- ・「12わる3は4です」(同)。
- ・前回までは「1つ分の数」がわからない時は、わり算をしました。
- でも、今日は「いくつ分」がわからない時でした。
- 「いくつ分」がわからない時も、わり算で求められます。
- (11) ・p37を見ます。Aさん、黄色い枠の所を読んで下さい(読む)。
- ・下の、 $12 \div 3$ が囲まれている所を見ます。
- ・「 $12 \div 3$ 」の式で、「12」を何と言いますか(わられる数)。丸囲み。
- 「3」を何と言いますか(わる数)。丸囲み。
- ・みんなで言います。「12はわられる数、3はわる数」(同同同)。
- ・ますりんの所を見ます。かけ算の時にも似たようなことをしました。
- 「 3×4 」の式で、「3」はかけられる数、「4」はかける数でした。丸囲み。
- (12) ・練習問題をします。
- ・Bさん、△1の問題文を読んで下さい(読む)。
- ・花は何本ありますか(18本)。花を○印に変えます。
- 上側に、○を18こ書きます。 ※1列で18こを示す
- ・1束何本ずつにしますか(6本ずつ)。
- ・最初の6こを囲んで、その下に「1たば」と書きます。
- ・次の6こを囲んで、その下に「2たば」と書きます。
- ・次の6こを囲んで、その下に「3たば」と書きます。
- ・これで全部分けられました。花束は何たばできましたか(3たば)。
- ①の脇に書きます。
- ・②の脇に式を書きます($18 \div 6 = 3$)。
- (13) ・Cさん、△2の問題文を読んで下さい(読む)。
- ・ボールは何こありますか(24こ)。ボールを○印に変えます。
- ・下側に、○を24こ書きます。 ※「10数図」2つと、4こを示す
- ・1つのかごに何こずつ入れますか(4こ)。最初の4こを囲みます。
- そして、その下に「1つ」と書きます(書く)。
- ・さっきと同じようにして図を完成させます。
- ・そして式と答えを書きます。全部できたら先生チェック
- ($24 \div 4 = 6$ 答え 6つ)。

★ポイント(30304)

(1)何人に分けられるかを求めるときの計算を考える。

○「何人分」を求める分け方考える。

・「おはじきの絵」を見て、考える。

・「おはじきの絵」を操作して、考える。

「包含除」を図で操作

一つ一つ囲む

リズムよく説明する

《手 順》

- (1)「12こ」の○をかく。
- (2)「○○○」を囲み「1人目」と書く。
- (3)○がなくなるまで囲み続ける。
- (4)式と答えをかく。

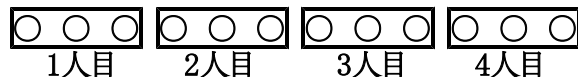
《おしゃべり》

- (1)1人目。1, 2, 3。まだ分けられる。
2人目。1, 2, 3。まだ分けられる。
3人目。1, 2, 3。まだ分けられる。
4人目。1, 2, 3。
全部分けられた。O.K.
- (2)答えは4人です。
- (3)式は, $12 \div 3 = 4$ です。

(2)「同じ数ずつ分ける(包含除)」を、半具体物で操作する。

○「○印」…パイ、花、ボール等の数

○「1人分の数」だけ、「○囲み」をしていく。○がなくなるまで続ける。



- (1)・37ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・追い読みをします(□2)。 ※追い読み→1人読み
- (3)・右側の写真を見ます。カードがたくさん並んであります。
 ・全部で何枚ありますか(20枚)。挿絵に「20まい」と書きます。
 ・1人に何枚ずつ配りますか(5枚)。
 ・何人に分けられますか、という問題です。
 ・「何人に分けられるか」の問題を解くときは、何算をしますか(わり算)。
 「式」の所にわり算の式を書きます(20÷5)。
- (4)・Aさん、こうたさんの吹き出しを読んで下さい(読む)。
 ・こうたさんが言っているように、□入りのかけ算で表してみます。
 ※「1つ分の数×いくつ分=全部の数」揭示
 ・「1人分は何枚」と書いてありますか(1人分は5枚)。
 ※「1つ分の数」の下に「5」、問題文「1人に5枚」に青囲み
 ・みんなも、問題文の同じ所に青囲みをします(青囲み)。
 ・「何人分」ですか(□人分)。
 ・「いくつ分」がわからないのは初めてです。
 ※「いくつ分」の下に「□」、問題文「何人」に赤囲み
 ・みんなも、問題文の同じ所に赤囲みをします(赤囲み)。
 ・「全部のカード」は何枚ですか(20まい)。
 ※「全部の数」の下に「20」、問題文「20まい」に黒囲み
 ・みんなも、問題文の同じ所に黒囲みをします(黒囲み)。
 ・ $5 \times \square = 20$ という変な式ができました。
- (5)・?マーク「答えの見つけ方を考えよう」とあります。
 ・p38を開きます。
 ・ここ(ICT)に「 $5 \times \square = 20$ 」と、下の「×」「＝」にそろえて書きます。
 ・□の数はいくつなのかを調べます。
 ・青い所の最初の段を見ます。「1人に分けると」。□に「1」を入れます。
 五一が(5)。答えは5ですね。20ではありません。
 なので、□は「1」ではありません。左側に「×印」を書きます(×)。
 ・次の段を見ます。「2人に分けると」。□に「2」を入れます。
 五二が(10)。答えは10ですね。20ではありません。
 なので、□は「2」ではありません。左側に「×印」を書きます(×)。
 ・次の段を見ます。「3人に分けると」。□に「3」を入れます。
 五三(15)。答えは15ですね。20ではありません。
 なので、□は「3」ではありません。左側に「×印」を書きます(×)。
 ・次の段を見ます。「4人に分けると」。□に「4」を入れます。
 五四(20)。答えは20です。ピッタリです。
 □は4でした。左側に「○印」を書きます(○)。
 ・答えは4人です。
- (6)・でも、いつも青色の所に書いてあることをしていたら大変です。
 ・「 $5 \times \square = 20$ 」の時の□の求め方は、もう習っています。
 ・何ページで習いましたか(p22)。開きます。この時と同じ事をします。
- (7)・ノートに、「 $5 \times \square = 20$ 」を書きます。
 ・何の段を使って探しますか(5の段)。
 ・「5」の下に、5mm方眼を使って、縦に数字を書いていきます。
 ・1を書いて五一が(5)。2を書いて五二(10)。3を書いて五三(15)。
 4を書いて五四(20)。ピッタリになったので、「4」に○印。

- (8) ・ B さん、青色の下から読んで下さい(読む)。
 ・ ノートに、1マスずつで「 $20 \div 5 =$ 」と書きます。
 ・ 「5」の下に「1」と書いて五一が5、「2」と書いて五二10、「3」と書いて五三15、「4」と書いて五四20。「4」に○印。答えは4なので「=4」。
 ・ このように説明します。 ※説明台紙の掲示
 ①($\div$)の答えは()の段で見つけます。
 ②($\times$ は 、 $\times$ は 、 …)。マル。
 ③答えは()です。
 ($20 \div 5$ の答えは、5の段で見つけます。五一が5、五二10、五三15、五四20。マル。答えは4です)。
- (9) ・ B さん、まとめを読んで下さい(読む)。
 ・ 練習問題に入ります。
 ・ C さん、△3の問題を読んで下さい(読む)。
 ・ 「8cmずつに切る」に下線。わり算ですね。
 ・ 右側の、赤いテープの絵を見ます。
 ・ リボンは全部で何cmですか(24cm)。書いてありますね。黒で囲みます。
 問題文の「24cm」にも黒囲み。
 ・ 1本分の長さは、何cmですか(8cm)。「8cm」を青で囲みます。
 ・ 問題文の「8cm」も、青で囲みます。
 ・ 24cmのリボンから、8cmのリボンが何本分とれますか(□本分)。
 これが問題です。脇に、赤で「□本分」と書きます。
 問題文の「何」を□で囲んで、「□本」を赤で囲みます。
 ・ 式を脇に書きます($24 \div 8$)。
 ・ このわり算の答えは、何の段にありますか(8の段)。
 ・ ノートに「 $24 \div 8 = \square$ 」を書いて調べます。
 ・ 答えを書きます($24 \div 8 = 3$ 答え3cm)。 ※答え合わせ
- (10) ・ D さん、△4の問題を読んで下さい(読む)。
 ・ 「3dLずつコップに分ける」に下線。わり算ですね。
 ・ ジュースは全部で何dLですか(15dL)。黒で囲みます(黒囲み)。
 ・ コップ1こに何dLずつ分けますか(3dLずつ)。「3dL」を青で囲みます。
 その上に「1こ」と書きます(青囲み、1こ)。
 ・ 15dLのジュースを分けるのに、コップは何こ必要ですか(□こ)。
 赤で囲みます(赤囲み)。
 ・ 式を脇に書きます($15 \div 3$)。
 ・ さて、このわり算の答えは何の段にありますか(3の段)。
 ・ ノートに「 $15 \div 3 = \square$ 」を書いて調べます。
 ・ 答えを書きます($15 \div 3 = 5$ 答え5こ)。 ※答え合わせ
- (11) ・ スキル14番を開きます。 ※スキルシステム

★ポイント(30305)

- (1)「同じ数ずつ分ける(包含除)」問題は、わり算の式で求めることを知る。
○かけ算の公式「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」を利用する。

$$\begin{array}{ccccccc} & 1\text{つ分の数} & \times & \text{いくつ分} & = & \text{全部の数} \\ & 5 & \times & \square & = & 20 \end{array}$$

○かけ算の公式の色を使って、問題文を分析する。

- ・「1つ分の数」…青→「1人分は何こ」
- ・「いくつ分」…赤→「5人」
- ・「全部の数」…黒→「20こ」

○「単元1」でやった「□」の求め方を想起する。

$$5 \times \square = 20$$

1④
2
3

- (2)わり算の式から、答えを直接求める方法を知る。 ※第3時と同じ
○かける数の「5の段」を使って求められることを、宣言する。

○わる数の下で調べる。説明する。

$$20 \div 5 = \square$$

1④
2
3

- 《おしゃべり》
- (1) 20÷5の答えは、5の段で見つけられます。
- (2) 五一が5, 五二10, 五三15, 五四20。マル。
- (3) 答えは 4です。

- (1)・39ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・追い読みをします(しほまで)。 ※追い読み→1人読み
- (3)・?マーク「2つの問題の、にているところや～」とあります。
 ※「1つ分の数×いくつ分=全部の数」2つ揭示
- ・こうたさんの問題文の「2人で同じ数ずつ分ける」に下線を引きます。
この問題は、わり算ですね。
 - ・しほさんの問題文の「1人に2こずつ分ける」に下線を引きます。
この問題も、わり算ですね。
- (4)・Aさん、①を読んで下さい(読む)。
 ・どちらもわり算です。下の「式」の所に式を書きます($6 \div 2$ 、 $6 \div 2$)。
- (5)・Bさん、②を読んで下さい(読む)。下の図を見ます。
 ・左側が、こうたさんの問題の図、右側が、しほさんの問題の図です。
 ・赤ポツで示されているのが、「あめ」です。
 ・灰色で示されているのが「人」です。
 ・まず、こうたさんの図から見ます。
 ・「1人分の数」を見ます。1人分のあめは何こですか(3こ)。
 こうたさんは、これを問題にしています。
 ・なので、「□こ」にしています。青囲みをします。
 問題文の「1人分は何こ」にも、青囲みをします(青囲み)。
 ・「いくつ分」を見ます。何人いますか(2人)。「2人」に赤囲みをします。
 問題文の「2人」にも、赤囲みをします(赤囲み)。
 ・「全部の数」を見ます。あめは全部で何こありますか(6こ)。
 ・あめの絵の脇に、黒で「6こ」と書きます。
 問題文の「6こ」にも、黒囲みをします(黒囲み)。
 ・かけ算の言葉の式に当てはめます。 ※板書で示す
 「1つ分の数」は青なので「□」、「いくつ分」は赤なので「2」、「全部の数」は黒なので「6」。
 ・式は、何になりましたか($\square \times 2 = 6$)。図にかいてあります。
- (6)・次は、右側のしほさんの図を見ます。
 ・「1人分の数」を見ます。1人分のあめは何こですか(2こ)。
 「2こ」に青囲みをします。
 問題文の「1人に2こ」にも、青囲みをします(青囲み)。
 ・「いくつ分」を見ます。何人いますか(3人)。
 しほさんは、これを問題にしています。
 ・なので、「□人」にしています。赤囲みをします。
 問題文の「何人」にも、赤囲みをします(赤囲み)。
 ・「全部の数」を見ます。あめは全部で何こありますか(6こ)。
 ・あめの絵の脇に、黒で「6こ」と書きます。
 問題文の「6こ」にも、黒囲みをします(黒囲み)。
 ・かけ算の言葉の式に当てはめます。 ※板書で示す
 「1つ分の数」は青なので「2」、「いくつ分」は赤なので「□」、「全部の数」は黒なので「6」。
 ・式は、何になりましたか($2 \times \square = 6$)。図にかいてあります。
- (7)・こうたさんの式は、「 $\square \times 2 = 6$ 」になりました。
 ・しほさんの式は、「 $2 \times \square = 6$ 」になりました。
 ・□を求めるには、何算をしますか(わり算)。式は($6 \div 2$)。
 ・「1つ分の数」がわからない時も「いくつ分」がわからない時も、どちら

- もわり算になります。なので式は、どちらも「 $6 \div 2$ 」です。
- ・答えはいくつですか(3)。□に書きます(3)。
 - ・何の段を使いましたか(2の段)。
 - ・でも、答え方は違います。
 - ・こうたさんの問題の答えは何ですか(3こ)。問題文の脇に書きます。
 - ・しほさんの問題の答えは何ですか(3人)。問題文の脇に書きます。
- (8) ・ Cさん、まとめを読んで下さい(読む)。
- ・「1人分の数をもとめる」に丸囲みをします。
 - ・1人分の数を求めているのは、こうたさんとしほさんのどちらですか(こうた)。問題文の上に「1人分の数をもとめる」と書きます。
 - ・「何人に分けられるかをもとめる」に丸囲みをします。
 - ・何人に分けられるかを求めているのは、どちらですか(しほ)。問題文の上に「何人に分けられるかをもとめる」と書きます。
- (9) ・ 練習問題に入ります。
- ・ Dさん、△5の問題を読んで下さい(読む)。ノートを出します。
 - ・ こうたさんと同じような問題を作ります。
 - ・ こうたさんは「6このあめを」とありますが、「24枚の色紙を」に変えます。右のようにノートに書きます(24枚の色紙を)。
 - ・ こうたさんは「2人で」とあります。
 - ・ 式は「 $24 \div 4$ 」なので、どのように変えますか(4人で)。書きます。
 - ・ あとは全部、こうたさんの問題文と同じです。書き写します(書く)。
 - ・ 書き終わった人は立って読みます。
(24枚の色紙を4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何枚になりますか)。
- (12) ・ 次は、しほさんと同じような問題を作ります。
- ・ しほさんは「6このあめを」とありますが、こうたさんと同じように「24枚の色紙を」に変えます。ノートに書きます(24枚の色紙を)。
 - ・ しほさんは「1人に2こずつ」とあります。
 - ・ 式は「 $24 \div 4$ 」なのでどのように変えますか(1人に4枚ずつ)。書きます。
 - ・ あとは全部、しほさんの問題文と同じです。書き写します(書く)。
 - ・ 書き終わった人は立って読みます。
(24枚の色紙を1人に4枚ずつ分けると、1人分は何枚になりますか)。
- (13) ・ △6を見ます。①だけ一緒にやります。
- ・ $30 \div 5$ の答えは、何の段の九九を使いますか(5の段)。
 - ・ 答えはいくつですか(6)。なぜですか(五六30だから)。書きます。
 - ・ 3×3 マスを使っても使わなくてもいいです。
 - ・ ②～⑧までやります。 ※答え合わせ
 - ・ 終わった人は、補充p130をやります。
- (14) ・ スキル15番を開きます。 ※スキルシステム

★ポイント(30306)

(1) 等分除と包含除の違いを、形を比べることで理解する。

○かけ算の公式「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」を利用する。

A $1 \text{ つ数} \times \text{いくつ} = \text{全部数}$

$$\square \times 2 = 6$$

B $1 \text{ つ数} \times \text{いくつ} = \text{全部数}$

$$2 \times \square = 6$$

○どちらの□も、わり算で求めることができる。

$$「6 \div 3 = 2」$$

(2) わり算の答えを、暗算で求めることができる。

○何の段で求めることができるのかを言う。

— 《おしゃべり》 —

(1) $30 \div 5$ の答えは、5の段で見つけられます。

(2) 答えは、6です。

- (1)・40ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2)・追い読みをします(□1)。 ※追い読み→1人読み
・「同じ数ずつ分けます」に下線をします。わり算の問題ですね。
- (3)・下の、三段分の絵を見ます。
・箱に入っているクッキーを、分ける問題です。
・(1)は、箱に8こ入っています。指さします。
・(2)は、箱に4こ入っています。指さします。
・(3)は、箱に何も入っていません。指さします。
「入っていない」ことを、算数のことばで言うと何と言いますか
(0こ入っている)。 (3)の脇に「0こ入っているとき」と書きます。
- (4)・まず(1)の図を見ます。
・クッキーは全部で何こ入っていますか(8こ)。
「全部の数」なので黒囲みをします(黒囲み)。
・何人で分けるのですか(4人)。問題文の「4人」を赤で囲みます(赤囲み)。
・1人分は何こですか(□こ)。「1人分は何こ」を青で囲みます(青囲み)。
・「1人分の数」が分からないときはわり算をしますか(わり算)。
・式を赤四角に書きます($8 \div 4 = 2$)。1人分は「2こ」です。
1番左側の絵の皿を青丸囲み。脇に「2こ」と書きます。
- (5)・次に(2)の図を見ます。
・クッキーは全部で何こ入っていますか(4こ)。
「全部の数」なので黒囲みをします(黒囲み)。
・何人で分けるのですか(4人)。さっきと同じです。
・1人分は何こですか(□こ)。さっきと同じです。
・「1人分の数」が分からないときはわり算でした。
・式を赤四角に書きます($4 \div 4 = 1$)。1人分は「1こ」です。
1番左側の絵の皿を青丸囲み。脇に「1こ」と書きます。
- (6)・そして(3)の図を見ます。
・クッキーは箱の中に何こ入っていますか(0こ)。
・みさきさんは「どんな式になるかな」と言っています。
こんな場合でも、式は作れるのでしょうか。
・?マーク「箱にクッキーが入っていないときについて～」とあります。
・Aさん、①を読んで下さい(読む)。
・「全部の数」は「0こ」です。黒囲みをします(黒囲み)。
・何人で分けるのですか(4人)。さっきと同じです。
・1人分は何こですか(□こ)。さっきと同じです。
・「1人分の数」が分からないときはわり算でした。
・0こを4人で分けるので、「 $0 \div 4$ 」になります。
・「 $0 \div 4$ 」の答えはいくつか、答えは絵にあります。1人分は0こです。
1番左側の絵の皿を青丸囲み。脇に「0こ」と書きます。
・赤四角に書きます(0)。「 $0 \div 4 = 0$ 」。
・これは、何の段を使いましたか(4の段)。
・「 $4 \times 0 = 0$ 」でしたね。
- (7)・Bさん、まとめを読んで下さい(読む)。
・p148の表を見ます。かけられる数とかける数が0と1の所を書きます。
- (8)・Cさん、②を読んで下さい(読む)。
・クッキーは全部で何こですか(8こ)。黒囲み。
・1人に何こずつ分けられますか(1人に1こずつ)。青囲みと「1人」。

- ・何人に分けますか(□人)。「何」を□囲みして、赤囲み。
 - ・ $1 \times \square = 8$ 。わり算にします(8÷1)。何の段を使いますか(1の段)。
 - ・答えは何ですか(8)。わけは(一八が8だから)。書きます。
- (9)・△1をやります。①だけ一緒にやります。
- ・何の段を使いますか(2の段)。唱えます(二零が0)。答えは(0)。
 - ・説明します。
- (0÷2の答えは、2の段で見つめます。二零が0。マル。答えは0です)。
- ・②～⑧までやります。
- (10)・スキル16番を開きます。

※習熟システム

※スキルシステム

★ポイント(30307)

- (1) わられる数が「0」のときも、わり算の式に表すことができる。
○答えは、いつも「0」になる。

○何の段で求めることができるのかを言う。

— 《おしゃべり》 —

- (1) 0÷2の答えは、2の段で見つけられます。
(2) 二零が0。
(3) 答えは、「0」です。

- (2) 以下のわり算の式を、惑わされることなく答えることができる。
○「0÷8」

— 《おしゃべり》 —

- (1) 0÷8の答えは、8の段で見つけられます。
(2) 八零が0。
(3) 答えは、「0」です。

○「7÷1」

— 《おしゃべり》 —

- (1) 7÷1の答えは、1の段で見つけられます。
(2) 一七が7。
(3) 答えは、「7」です。

○「3÷3」

— 《おしゃべり》 —

- (1) 3÷3の答えは、3の段で見つけられます。
(2) 三一が3。
(3) 答えは、「1」です。

- (1) ・ 42ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2) ・ p42の算数の目をやってから「たしかめよう」をやります。
・ 追い読みをします(吹き出しまで)。 ※追い読み→1人読み
- (3) ・ どちらも「 $12 \div 3$ 」になる問題です。
・ わり算の問題のわけの所に下線を引きます。
　(ア…3人で同じ数ずつ分けると。イ…1人に3こずつ分けると)。
・ アを見ます。「12このあめを3人で同じ数ずつ分けると、赤四角」とあります。
・ p39のこうたとしほの所を見ます。どちらの問題と同じか(こうた)。
・ 何の問題と言えますか(1人分の数を求める問題)。アの上に書きます。
・ 赤四角には、何が入りますか(1人分は何こですか)。書きます。
- (4) ・ イを見ます。「12このあめを1人に3こずつ分けると、赤四角」とあります。
・ p39のこうたとしほの所を見ます。どちらの問題と同じですか(しほ)。
・ 何の問題と言えますか(何人に分けられるかを求める問題)。
　アの上に書きます。
・ 赤四角には、何が入りますか(何人に分けられますか)。書きます。
- (5) ・ Bさん、②を読んで下さい(読む)。
　※「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」揭示
・ アの問題を、色分けします。自分でやります。
・ 答え合わせをします。「1つ分の数」の青はどこですか(1人分は何こ)。
　「いくつ分」の赤はどこですか(3人)。「全部の数」の黒は(12こ)。
　※公式の下にあてはめる
・ 式はどうになりましたか($\square \times 3 = 12$)。それはどちらの式ですか(キ)。
　このように、線で結びます(結ぶ)。
・ イの問題を、色分けします。自分でやります。
・ 答え合わせをします。「1つ分の数」の青はどこですか(1人に3こずつ)。
　「いくつ分」の赤はどこですか(何人)。「全部の数」の黒は(12こ)。
　※公式の下にあてはめる
・ 式はどうになりましたか($3 \times \square = 12$)。それはどちらの式ですか(カ)。
　このように、線で結びます(結ぶ)。
- (6) ・ Cさん、③を読んで下さい(読む)。
・ $3 \times \square = 12$ も、 $\square \times 3 = 12$ も、どちらも何算で求めますか(わり算)。
・ 式を書きます($12 \div 3$)。これは何の段の九九を使いますか(3の段)。
　書きます。
・ こうたさんが言っています。場面は違うけど、何が同じですか
　(式が同じ)。脇に書きます。
- (7) ・ p41に戻ります。△1は15問あります。
・ ①だけ一緒にやります。
・ 何の段を使いますか(4の段)。答えは(6)。
・ 説明します。
　(24÷4の答えは、4の段で見つけられます。答えは6です)。
・ ②～⑮までやります。 ※習熟システム
・ 説明は次のようにします。
　(8÷2は、2の段で見つけられます。答えは4です)。
- (8) ・ スキル17番を開きます。 ※スキルシステム

★ポイント(30308)

- (1) 等分除と包含除の違いを、形を比べることで理解する。
○かけ算の公式「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」を利用する。

(1つ分の数を求める)
A $1 \text{ ぶん} \times \text{いくつ} = \text{全部数}$
 $\square \times 3 = 12$

(何人に分けられるかを求める)
B $1 \text{ ぶん} \times \text{いくつ} = \text{全部数}$
 $3 \times \square = 12$

○どちらの□も、わり算で求めることができる。

「 $12 \div 3 = 4$ 」

- (2) 以下のわり算の式を、惑わされることなく答えることができる。
基本通りの説明をする。

※ $0 \div 5$ のわり算

— 《おしゃべり》 —
(1) $0 \div 5$ の答えは、5の段で見つけられます。
(2) 五零が0。マル。
(3) 答えは0です。

※ $3 \div 1$ のわり算

— 《おしゃべり》 —
(1) $3 \div 1$ の答えは、1の段で見つけられます。
(2) 一一が1, 一二が2, 一三が3, マル。
(3) 答えは3です。

※ $7 \div 7$ のわり算

— 《おしゃべり》 —
(1) $7 \div 7$ の答えは、7の段で見つけられます。
(2) 七一が7。マル。
(3) 答えは1です。

- (1) ・ 41ページを開いたら、教科書を持って立ちます。
- (2) ・ $\triangle 2$ ①を追い読みをします。 ※追い読み→1人読み
- (3) ※「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」掲示
- ・ ①の問題を、色分けします。自分でやります。
 - ・ 答え合わせをします。「1つ分の数」の青はどこですか(1チームは何人)。「いくつ分」の赤はどこですか(8つ)。「全部の数」の黒は(32人)。
※公式の下にあてはめる
 - ・ 式はどうなりましたか($\square \times 8 = 32$)。
 - ・ 脇に、わり算の式を書いて答えます($32 \div 8 = 4$ 答え4人)。
 - ・ 式と答えの説明をします。
($32 \div 8$ は、8の段で見つけられます。答えは4です。問題の答えは4人です)。
- (4) ・ Bさん、②を読んで下さい(読む)。
- ・ ②の問題を、色分けします。自分でやります。
 - ・ 答え合わせをします。「1つ分の数」の青はどこですか(6本ずつ)。
 - ★「6本ずつ」というのは、「1つ6本」と同じ意味です。脇に「1つ」と書く。
 - ★「1つ分」が探せないときは、「ずつ」を探せばいいのです。
 - ・ 「いくつ分」の赤はどこですか(いくつ)。「全部の数」の黒は(48本)。
※公式の下にあてはめる
 - ・ 式はどうなりましたか($6 \times \square = 48$)。
 - ・ 脇に、わり算の式を書いて答えます($48 \div 6 = 8$ 答え8つ)。
 - ・ 式と答えの説明をします。
($48 \div 6$ は、6の段で見つけられます。答えは8です。問題の答えは8つです)。
- (5) ・ Cさん、 $\triangle 3$ の問題文を読んで下さい(読む)。「 $8 \div 2$ 」に丸囲み。
「 $8 \div 2$ 」になる問題文を探す、という問題です。
- ・ ア～オまで、追い読みをします。 ※追い読み
 - ・ 問題文を読んだだけでは、どれが「 $8 \div 2$ 」の問題かわかりませんね。
 - ・ 5つの問題のうち、1つだけひき算が混じっています。
 - ・ それはア～オのうちのどれですか(ウ)。
 - ・ わけは(残りの問題だから)。
ウは、8枚のうち2枚食べたので、式は $8 - 2 = 6$ 。
 - ・ ウはひき算です。ウの記号に×印をつけます(×印)。
- (6) ・ アイエオの問題文を調べます。
- ・ まず、全部の「1つ分の数」を青で囲みます。自分でやります。
ヒントは「1」がついています。
 - ・ 答え合わせをします。
 - ・ アは(1袋8枚)。青囲み。イは(1人に2枚ずつ)。青囲み。
 - ・ エに「1」はありません。でも、「ずつ」があります。
「2こずつ」に青囲み。「2こずつ」は、「1人2こ」と同じ意味です。
「2こずつ」の脇に「1人」と書きます。
 - ・ オは(1チームは何人)。青囲み。
- (7) ・ 次に「いくつ分」を赤で囲みます。自分でやります。
- ★ヒントは「1」についての単位です。
 - ・ 答え合わせをします。
 - ・ アの「いくつ分」は、青が「1袋」と書いてあるので(2袋)。赤囲み。
 - ・ イの「いくつ分」は、青が「1人」と書いてあるので(何人)。赤囲み。

- ・エの「いくつ分」は、青が「1人」と書いてあるので(8人)。赤囲み。
 - ・オの「いくつ分」は、青が「1チーム」と書いてあるので(2つのチーム)。赤囲み。
- (8) ・そして「全部の数」を黒で囲みます。自分でやります。
- ・ヒントは、まだ囲んでない「数や何」です。
 - ・答え合わせをします。
 - ・アは(何枚)。黒囲み。イは(8枚)。黒囲み。エは(何こ)。黒囲み。オは(8人)。黒囲み。
- (9) ・それぞれを、かけ算の式にします。
- ・かけ算のことばの式を見ると、「青×赤＝黒」ですね。
 - ・アは($8 \times 2 = \square$)。イは($2 \times \square = 8$)。エは($2 \times 8 = \square$)。オは($\square \times 2 = 8$)。それぞれ脇に書きます(書く)。
 - ・この中で、わり算になるのはどれですかという問題です。
 - ・何がわからない時に、わり算でしたか(1つ分の数といくつ分)。
 - ・「全部の数」が分からないときは、そのままかけ算でした。
 - ・ということは、「 $8 \div 2$ 」になる問題文は、どれですか(イとオ)。記号の所に「○印」をつけます。
- (10) ・スキルの残りを整理します。

★ポイント(30309)

- (1) 問題文の分析を、自力でやることができる。

○かけ算の公式の色を使って、問題文を分析する。

- ・「1つ分の数」…青→「1チームは何人」
- ・「いくつ分」…赤→「8つ」
- ・「全部の数」…黒→「32人」

○それぞれの見つけ方

- ・「1つ分の数」…「1」がある単位と数を探す。
「1」がないときは、「ずつ」を探す。
- ・「いくつ分」…「1」についての単位がある数を探す。
※例…青に「1人」と書いてあるで、「何人」です。
- ・「全部の数」…まだ囲んでいない「数や何」を探す。

- (2) かけ算の公式「1つ分の数×いくつ分＝全部の数」を利用して立式する。

○ 1つ分の数×いくつ分＝全部の数

ア	8	×	2	=	□
イ	2	×	□	=	8
エ	2	×	8	=	□
オ	□	×	2	=	8

○「全部の数」に□がある場合 → かけ算

○「1つ分の数」か「いくつ分」に□がある場合 → わり算

- (3) 式の答えと問題の答えの区別をする。

○「式の答えは4です。問題の答えは4人です」



「商は4です。問題の答えは4人です」(4年生以降の言い方)